

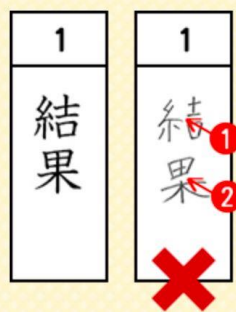
少しの注意で得点アップ!?

漢検で答えを書くときに
気をつけること



検定を受ける前に要チェック!
8つのポイントに注意して得点アップを
めざしましょう!

1.画数が違う

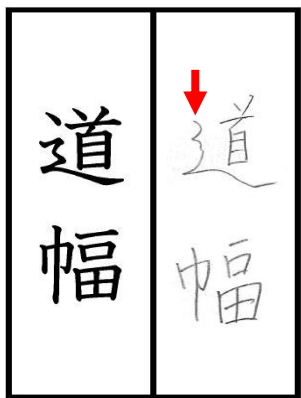
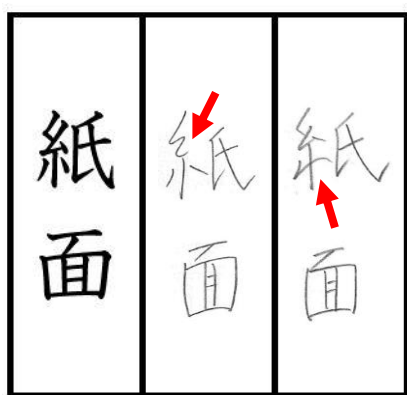


✕のポイント1

- 画数が違うよ。
「糸」の三画目がないね。
- 画数が違うよ。
ここは「田」+「木」ではなく、
縦に続けて一画で書く部分だよ。



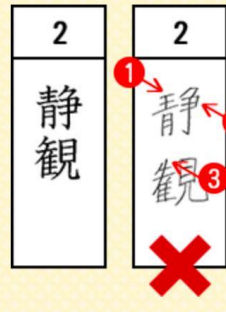
【不正解になる書き方の例】



「糸」の3画目がなかったり、
5画目と6画目がつながって
たりすると不正解。

本来三画で書くべき「辶」を、
一画で続けて書いてしまっ
ているので不正解。

2.突き出しの有無

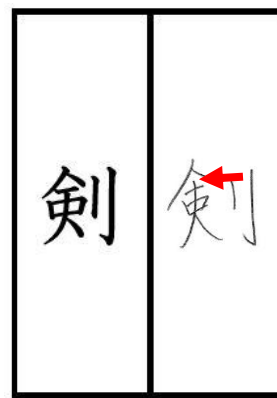
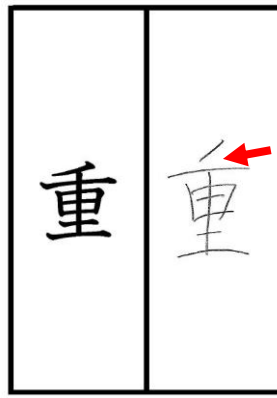


✕のポイント2

- 突き出るところが突き出ていないよ。
- 突き出ないところが突き出ているよ。



【不正解になる書き方の例】



本来突き出るべき部分が突き出
ていないので不正解。

本来突き出てはいけない部分が
突き出ているので不正解。

3.字の組み立てが違う

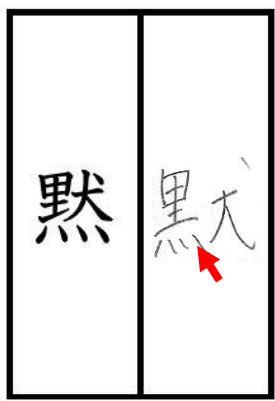
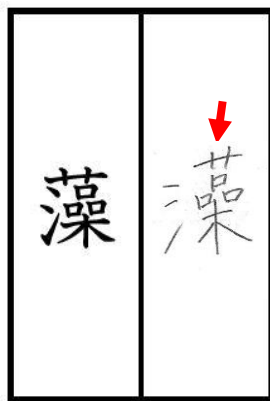


✕のポイント3

- 字の組み立てが違うよ。
「卩」は「土」の上に書いてね。
- 字の組み立てが違うよ。「シ」の右に
「サ」「各」ではなく、「サ」の下に
「シ」「各」を書くんだよ。



【不正解になる書き方の例】



「艹」の下に「朶」だけを書い
ていて、組み立てが違うので
不正解。

「黒」の右側に「犬」と書い
ていて、組み立てが違うので
不正解。

4.別の字と間違えている

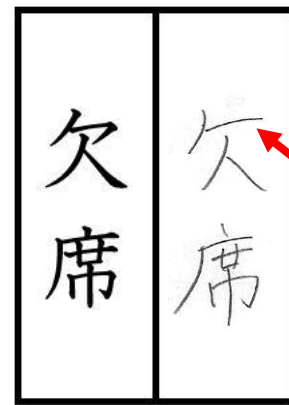
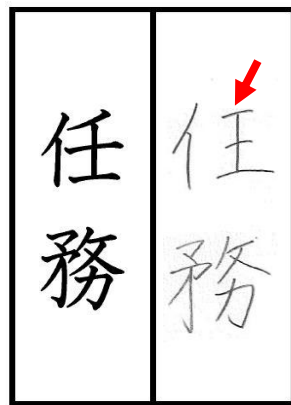


✕のポイント4

- 上の画が下の画より長いから、
「末(マツ)」というよく似た別の字に
なってしまうよ。
- 「水」が、「氷」というよく似た別の
形になってしまうよ。



【不正解になる書き方の例】



「王」になっているので
不正解。

「欠」になっているので
不正解。

次のページに続く

5.文字がつぶれている、続け字

5	5
優良	優良

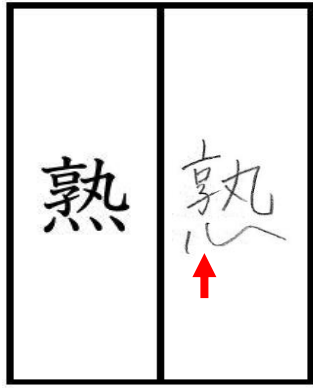
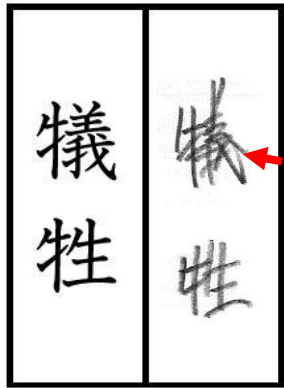
✕のポイント5

① 字の細かい部分がつぶれてしまっているから、画数が合っているかどうか判断できないよ。

② 一画ずつ丁寧に書かず、続け字になっているから、字の形が大きく崩れてしまっているよ。

漢検博士

【不正解になる書き方の例】



「犠」の「義」の点画が潰れていて、正しく読み取れないので不正解。

「心」部分が続け字になっているので不正解。

6.不要な部分がある、残っている

6	6
危篤	危篤

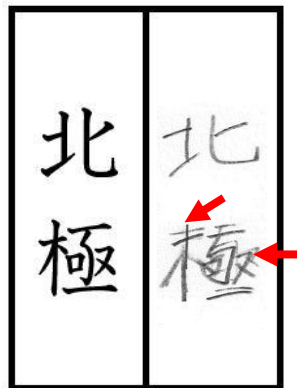
✕のポイント6

① ここを大きくはねて書くと、よく似た別の形(「皮」や「声」などはねる部分)と混同して不要な部分まで書いていると判断されるよ。

② 消そうとしたのか書こうとしたのかがはっきりわからない部分があるせいで、漢字の形をきちんと理解できているか判断できないよ。

漢検博士

【不正解になる書き方の例】



消し跡が残っていて別の画のように見えるので不正解。

消し跡が残っていて「彡」のように見えるので不正解。

7.字が小さい、薄い

7	7
希薄	希薄

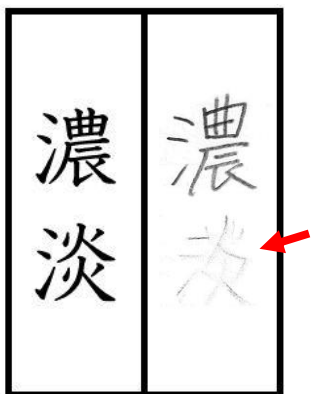
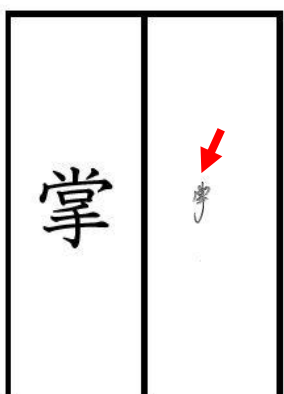
✕のポイント7

① 字が小さすぎるよ。小さく書くとなんとなく書けているように見えたりするけれど、それではダメだよ。

② 字が薄すぎるよ。薄く何か見えていたとしても、採点するための情報が不足していると判断された場合、正解にはならないよ。

漢検博士

【不正解になる書き方の例】



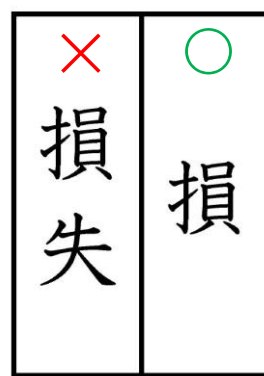
字があまりにも小さく細部が読み取れないので不正解。

文字が薄すぎて細部が読み取れないため不正解。

8.設問の指示を守っていない

【4級 対義語・類義語】

1字で解答する問題で、2字書いているので不正解。



1 利益 — □ 失

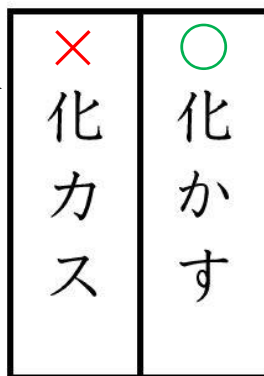
対義語

(六) 後の□内のひらがなを漢字に直して□に入れ、対義語・類義語を作れ。□内のひらがなは一度だけ使用し、答案用紙に一字記入せよ。

(20) 2×10

【8級 送りがな】

漢字とひらがなで解答する問題でそれ以外の文字を使って答えているので不正解。



1 (六) 化

きつねが人をバカス話を聞いた。

(六) つぎの—線のカタカナを○の中の漢字とおくりがな(ひらがな)で□の中に書きなさい。
〈れい〉(大) オオキイ花がさく。 □ 大きい

(10) 2×5

得点アップの8つのポイント

1. 画数を正しく書く。
2. 突き出るところ、突き出ないところを正しく書く。
3. 字の組み立てを正しく書く。
4. よく似た別字(または字の一部)と区別がつくように書く。
5. 一画ずつ丁寧に書く。
6. 必要な部分だけを書く。
7. 採点可能な大きさ・濃度で書く。
8. 設問文をよく読んで指示を守って書く。